

[R6年度評価]

達成評価	目標達成	概ね達成	未達成	未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
達成状況	<p>7/18～19 東日本大震災を教訓に様々な災害対策に取り組んでいる宮城県美里町及び山元町を訪問し、福祉避難所等における障がい者支援、障がい者（団体）に対する町の支援について調査研究を行った。</p> <p>両町の取組に共通しているのは、震災の教訓から得た支え合いの仕組みづくりを意識した「情報の共有」と「継続した協議の場」を重視していることで、現在、「情報の共有」として、庁内、関係機関及び地域団体と連携しながらその取組を進め、福祉防災を専門とはしていないが、自立支援協議会の開催により、地域関係機関と障がい者団体との連携強化に努めている。</p> <p>委員会で事後調査により論点化を進め、所期の目標は、障がい者に特化した避難行動支援に係る調査研究であったが、地域の声を聞き、本町に求められる支援体制の構築が不可欠であり、誰もが共に助け合える環境づくりが必要であると再確認した。</p> <p>また、この調査を踏まえた一般質問が行われ、障がい者を含めた要配慮者の個別避難計画作成促進のため、庁内各課で連携し計画の原案を作成するなど、町として支援していくとの見解が示された。</p>									
情報提供	<p>令和6年10月に実施した「手をつなぐ育成会芽室町どんぐり会」との意見交換会において、先進地事務調査での報告を行い、その他頂いた意見も含め担当課へ情報共有し、解決策に向けて実態を調査し整理した。また、議会日より及び議会ホームページで情報発信した。</p>									
意見聴取	<p>令和6年1月に実施した「手をつなぐ育成会芽室町どんぐり会」との意見交換会での意見を踏まえ、7/18～19 先進地事務調査研究を行い、10/17 意見交換会において先進地事務調査報告を行った。</p>									
議員間討議	<ul style="list-style-type: none"> ・6/13（MT）正副委員長において先進地事務調査での質問事項を取りまとめ、スケジュール等について協議した。 ・8/21（委員会）各委員から出された調査報告を踏まえ、報告書の内容を協議した。 ・12/9（MT）抽出事業の達成状況等について協議し、内容を共有した。 									
特記事項	<p>本町は、地域防災計画に避難行動要支援者等の要配慮者に関する防災対策として、自主防災組織と連携した個別避難計画作成の促進について定め、障がい者（児）福祉計画には、住み慣れた地域で安心して暮らし続けていくために災害時の安全確保が必要であるとし、福祉避難所の指定促進に努めると定めている。調査で得た視点を福祉政策の充実に向けた調査を深めるとともに、今後、議会として防災対策全体について課題の共有や議論する場が必要である。</p> <p>また、町は障害福祉分野において地域の相談支援の中核的な役割を担う相談機関である「基幹相談支援センター」を令和7年4月に設置予定であり、本件調査時の議員間討議において事業の進捗状況等を継続調査することとした。災害時の障がい者への対応等も含め、今後も注視していく。</p>									